

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
未払配当金の支払い、 支払明細発行のお問い合 わせ先・郵便物送付先 ^{※1}	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に記録された株式に 関する各種お手続きのお問い 合わせ先・郵便物送付先 ^{※2}	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-288-324 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない 事由によって電子公告による公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載アドレス	http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6724/6724.html

※1 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。

※2 特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5
TEL: 0266-52-3131 (代表)

<http://www.epson.jp>



この冊子は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

EPSON
EXCEED YOUR VISION

40 YEARS
EPSON BRAND

セイコーエプソン株式会社

2016年3月期 中間株主通信

2015年4月1日～2015年9月30日

CONTENTS

特集 | 新商品のご紹介

リビングにあなたにフィット^{P.5}

高い設置性でどこにでも置ける、
みんなで使える。



優れた装着感のウェアラブル機器で、
あなたの生活を豊かに。



スマートヘッドセット
「MOVERIO Pro」で、
作業の最短距離を



社会貢献活動 「省エネパトロール隊」が台湾全域に拡大^{P.8}

経営理念・連結財務ハイライト	P.1	連結決算の概要	P.9
株主のみなさまへ	P.2	会社情報/株式情報	P.10
当上期の連結業績について	P.3	株主メモ	裏表紙

● 連結財務ハイライト

経営理念

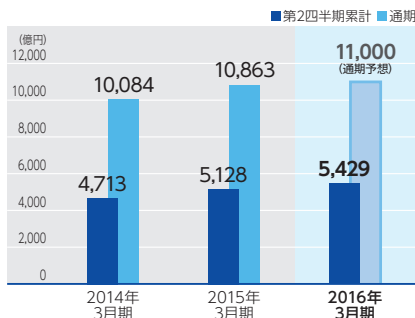
お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する
開かれた会社でありたい。
そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

EXCEED YOUR VISION

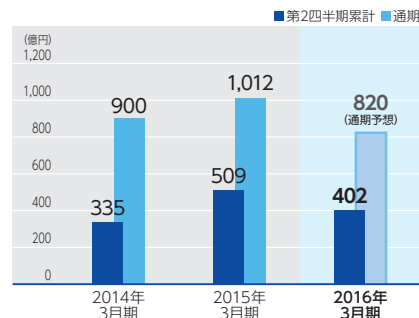
私たちエプソン社員は、
常に自らの常識やビジョンを超えて挑戦し、
お客様に驚きや感動をもたらす
成果を生み出します。



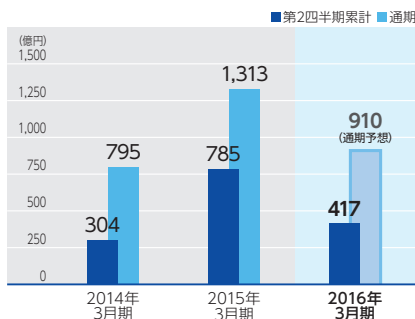
売上収益



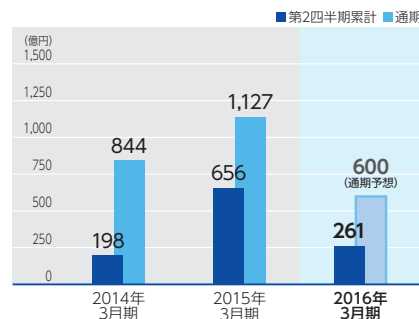
事業利益



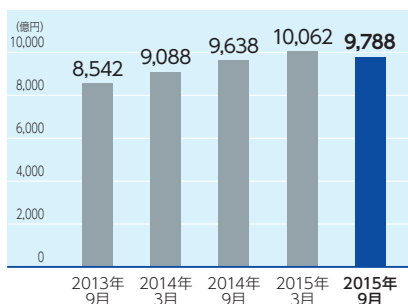
営業利益



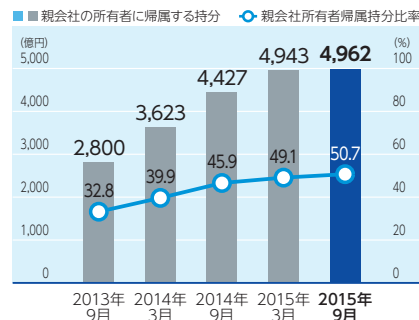
当期(四半期)利益



資産合計



親会社の所有者に帰属する持分 親会社所有者帰属持分比率



(注) 1. 2014年3月期に係る連結財務諸表から、国際会計基準(IFRS)を任意適用しています(移行日: 2012年4月1日)。
2. 2016年3月期通期の売上収益および各利益は、2015年10月29日公表の予想金額です。
3. 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しており、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念です。

本文中、セイコーエプソン株式会社につきましては「当社」、エプソングループ(当社および当社の関係会社)については「エプソン」と記載しています。

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年3月期中間株主通信をお届けするにあたり、謹んでごあいさつ申し上げます。

上期(2015年4月～9月)の振り返り

当期は、長期ビジョン「SE15」およびそれを実現するための基本戦略を定めた「SE15後期 新中期経営計画」の最終年度にあたります。その総仕上げとして、既存事業領域のさらなる強化と新規事業領域の積極的な開拓を加速し、持続的な事業成長を見据えた経営に取り組んでおります。

この方針のもと、戦略の根幹となるインクジェットプリンターは、新興国市場向け大容量インクタンクモデルやオフィス市場向け高価格帯モデルおよびインクの販売が堅調に推移しました。一方、新興国を中心に世界経済に不透明感が強まるなか、商業・産業市場向け大判インクジェットプリンターおよび液晶プロジェクターなどの販売が減少しました。

これらの結果、上期の業績につきましては、売上収益は5,429億円(前年同期比301億円増)、事業利益は402億円(同106億円減)、四半期利益は261億円(同395億円減(前期に計上した年金制度改定益の影響を含む))となりました。

売上収益は、前年同期に対して増収となり、戦略の進捗による成果が着実に表れてきていると認識しております。一方、事業利益は、次世代に向けた研究開発強化、販売拡大に対応するための生産設備増強および新規事業領域でのエプソンブランド強化などを目的とした戦略的な費用投入などにより、前年同期に対して減益となりましたが、上記のとおり基本戦略は着実に進展しており、今後の方向性には自信を持って進んでまいりたいと考えています。

株主のみなさまへの利益還元

当社は、お客様価値の創造を通じて持続的な事業成長を実現し、収益性と経営資源の効率化などにより安定的な資金創出に努め、成長戦略に基づく投資および経営環境の変化などに耐え得る強固な財務構造の構築に取り組むとともに、積極的な利益還元を実施することを配当の基本方針としております。

当期の中間配当につきましては、上期業績がおおむね期初計画どおりの結果となったことから、従来予想どおり1株当たり30円とさせていただきます。

下期につきましては、足元の事業環境や業績動向を踏まえ、業績見通しは慎重な見方をしておりますが、これまで培ってきたコア技術に磨きをかけ、お客様の期待を超える商品・サービスを創出することにより、さらなる事業基盤の強化に取り組む所存です。

株主のみなさまの一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2015年12月



代表取締役社長

碓井 稔

売上収益：5,429 億円（前年同期比 5.9% ▲） | 事業利益：402 億円（前年同期比 20.9% ▲）

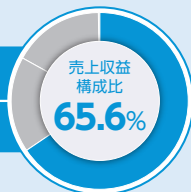
事業セグメント別の概況および業績の主な変動要因

(注) 1. 当連結会計年度よりセグメントの区分方法を変更しており、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度(通期)の金額は、当連結会計年度のセグメント区分方法で再計算して表示しています。
2. セグメント利益(事業利益)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

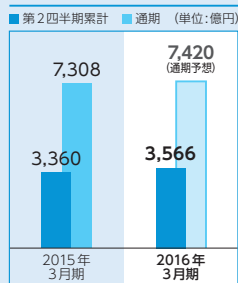
プリンティングソリューションズ事業セグメント

売上収益 3,566 億円（前年同期比 6.1% 増）

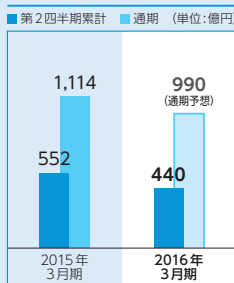
セグメント利益 440 億円（前年同期比 20.3% 減）



売上収益



セグメント利益



■ プリンター事業

インクジェットプリンター、シリアルインパクトドットマトリクスプリンター (SIDM)、ページプリンター、カラーイメージスキャナーおよびこれらの消耗品など

■ プロフェッショナルプリンティング事業

商業用インクジェットプリンター、産業用インクジェット印刷機、POSシステム関連製品、ラベルプリンターおよびこれらの消耗品など

■ その他

PC など

主な商品



カラリオ・プリンター
[EP-10VAJ]



カラリオ・プリンター
[EP-808AR]



ビジネスインクジェットプリンター
[PX-M860F]



大容量インクタンクシステム
搭載プリンター
[ET-2500J]
*日本未発売



昇華転写プリンター
SureColor [SC-F9200J]



大判インクジェットプリンター
SureColor [SC-P9050J]



レシートプリンター
[TM-T88V-DT]



インクジェットラベルプリンター
ColorWorks [TM-C7500J]

プリンター事業の売上収益は増加

- インクジェットプリンターは、インクカートリッジモデルが数量減少となったものの、大容量インクタンクモデルが商品ラインアップ強化によりアジアを中心に引き続き大幅な売上の拡大を果たし、全体でも売上増加。また消耗品も、プリンター本体の市場稼働台数の構成改善効果により売上増加。
- ページプリンターは、高付加価値製品中心へ販売を絞り込んだことにより数量減少となった結果、売上減少。
- SIDMは、米州で数量減少となったが、徴税市場で買替需要が顕在化した中国において堅調に推移し、また通帳プリンターが欧州と中国を中心に置き換え需要とシステムアップグレード需要により売上の拡大を果たし、全体でも売上増加。

プロフェッショナルプリンティング事業の売上収益は増加

- 大判インクジェットプリンターは、南米で通貨下落と景気減速の影響から需要が低迷したが、大判写真・色校正(プルーフ)印刷市場向け製品が引き続き堅調で、インクジェット捺染市場はアパレルから小物グッズ、インテリア系まで応用領域が拡大し売上増加。また消耗品も、インク消費需要が増え売上増加。
- POSシステム関連製品は、米州・日本での小型レシートプリンターの需要増を中心に売上が増加し、またオンデマンドでインハウス印刷を実現するラベルプリンターは、カラーラベル用途のニーズが伸長し売上増加。

3～4ページに掲載している

●売上収益構成比は、2015年4月～9月のセグメント間収益を含めて算出しています。

●2016年3月期通期の売上収益およびセグメント利益は、2015年10月29日公表の予想金額です。

ビジュアルコミュニケーション事業セグメント

売上収益 **951** 億円 (前年同期比9.5%増)

セグメント利益 **88** 億円 (前年同期比17.5%減)

売上収益
構成比
17.5%

■ ビジュアルコミュニケーション事業

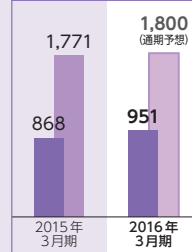
液晶プロジェクター、液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネル、スマートアイウェアなど

ビジュアルコミュニケーション事業セグメントの売上収益は増加

- 液晶プロジェクターは、高性能製品を含めたラインアップの拡充が進み、北米・アジア・日本において販売を伸ばし売上増加。

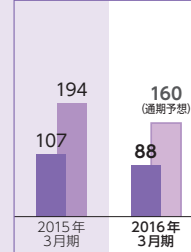
売上収益

■第2四半期累計 ■通期(単位:億円)



セグメント利益

■第2四半期累計 ■通期(単位:億円)



主な商品



ビジネスプロジェクター [EB-U32]



ホームシアタープロジェクター [EH-TW5350]



スマートヘッドセット MOVERIO Pro [BT-2000]

ウェアラブル・産業プロダクツ事業セグメント

売上収益 **914** 億円 (前年同期比1.8%増)

セグメント利益 **89** 億円 (前年同期比52.8%増)

売上収益
構成比
16.8%

■ ウェアラブル機器事業

●時計(ウォッチ、ウォッチムーブメントなど) ●センシングシステム機器

■ ロボティクスソリューションズ事業

●産業用ロボット、ICハンドラーなど

■ マイクロデバイス事業他

●水晶デバイス(水晶振動子、水晶発振器、水晶センサーなど)
●半導体(CMOS LSIなど) ●金属粉末 ●表面処理加工

ウェアラブル機器事業の売上収益は増加

- ウォッチの高価格品の販売増加による平均販売単価の上昇効果、および日本・米州・欧州での販売が堅調に推移したことや為替影響により売上増加。

ロボティクスソリューションズ事業の売上収益は減少

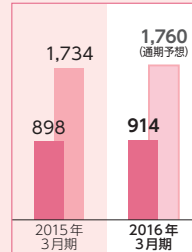
- 産業用ロボットは、前年同期に大型受注があった影響で売上減少となったが、その影響を除くと中国・日本・欧州向けの受注増により売上増加。ICハンドラーは、スマートフォン向け半導体の成長鈍化と代理店在庫調整の影響で売上減少。

マイクロデバイス事業他の売上収益は前年同期並み

- 水晶デバイスは、産業領域向けの販売が増加したものの携帯電話などのパーソナル機器向けの数量減少と価格下落の進行により売上減少。
- 半導体は、市況の悪化による顧客の在庫調整の影響で売上減少。
- 表面処理加工は、新顧客開拓の進展により、また金属粉末は、モバイル機器向け高性能材料粉末が好調で、売上増加。

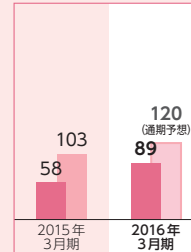
売上収益

■第2四半期累計 ■通期(単位:億円)



セグメント利益

■第2四半期累計 ■通期(単位:億円)



主な商品



GPSソーラーウォッチ セイコー アストロン[SBX8041]



EPD Wrist Wear [Smart Canvas]
(© 2015 Peanuts Worldwide LLC)



GPS Sports Monitor WristableGPS for Trek [MZ-500B]



水速加速度計 [M-A351]



16ビットフラッシュマイコン [S1C17W18]



ゴルフスイング解析システム M-Tracer For Golf [MT500GP]

その他

売上収益 **6** 億円 (前年同期比0.7%増)

セグメント利益 **△3** 億円 (前年同期は1億円のセグメント損失)

売上収益
構成比
0.1%

- グループ向けサービス業など

エプソンの技術力の源泉

省・小・精

リビングにフィットする

高い設置性でどこにでも置ける、みんなで使える。



リビングでも映画館さながらの臨場感

ホームシアタープロジェクター

「EH-TW5350」



フルHD(1080p)画面に2,200lm、コントラスト比35,000:1^{*1}と基本性能を向上し、エプソン独自の画像調整機能により、ワンランク上の映像を実現しています。

また、「ピタッと補正」(プロジェクター本体の傾きや、設置位置による映像の台形歪みを解消し、スクエアに調整するエプソンの各種補正機能の総称)により、斜め横から投写した際の台形歪みもピタッと補正。プロジェクターの置き場所が限られるスペースでも簡単に設置できます。

^{*1} 2D映像視聴時でカラーモード「ダイナミック」、明るさ切替「高」、[オートアイリス]オンかつズームがワイド端の時



新6色染料インク「Epson ClearChrome K2インク」搭載

カラリオ新高画質モデル

「EP-10VA」



9.0型大画面液晶タッチパネルに
ハガキの原寸大表示が可能な

ハガキプリンター「PF-81」



GOOD DESIGN

家庭用インクジェットプリンター・カラリオシリーズでは、こだわりの写真作品づくりからコピーなどの日常使い、そして年賀状作成まで、お客様の幅広いプリントニーズにお応えする新商品を発売しました。

これまででもご好評いただいているコンパクトなボディーで、リビングや書斎のラックなど、置きたい場所に設置できます。

“エネルギーを省く”、“モノを小さくする”、“精度を追求する”といった「省・小・精の技術」。
この「省・小・精の技術」に磨ぎをかけることで、お客様の期待を超える商品をお届けしたいという
思いのもと、先進的な商品を通じて、生活に新しい便利さをご提供しつづけてまいりました。
今年度の新商品も、置き場所を選ばないコンパクトな商品や、優れた装着性を備えたウェアラブル
機器をお届けすることができました。

フィットするエプソン

あなたにフィットする

優れた装着感のウェアラブル機器で、あなたの生活を豊かに。



新世代ゴルフスイング解析システム「M-Tracer For Golf」に新モデル

MT500GP

「MT500GP」は、アベレージゴルファー（平均スコア100前後）や上級者がさらにスコアアップを目指すためのスイング解析システムです。自社開発の高性能小型・軽量センサー（慣性計測ユニット：IMU）をゴルフクラブやパターに装着し、ボールを打つことで解析に必要な詳細なデータを正確に計測します。これにより、自分のスイングやパッティングを正しく知ることができるとともに、改善ポイントなどを簡単に把握することが可能です。



今年も数多くのシリーズを発売

Smart Canvas

時を知るのではなく「時を感じ、時を楽しむ」をテーマに、豊かな表現力を発揮する電子ペーパー表示技術（アクティブマトリクスEPD^{※2}方式）と、ガラス、バンドを含む商品全体でお客様に新しい時をお届けするリスト商品です。



センサー・フュージョン・テクノロジー^{※3}を搭載したエプソン初のトレッキングギア

WristableGPS for Trek

「MZ-500B」、「MZ-500S」は、ランニング向け商品で最も評価をいただいている「高精度な測位」を、センサー・フュージョン・テクノロジーにより、さらに高いレベルで実現させました。5つのセンサー「GPSセンサー」、「地磁気センサー」、「加速度センサー」、「温度センサー」、「気圧センサー」から得られた情報は、独自のアルゴリズムにより、さらに精度が高められています。

※2 EPD=Electrophoretic Display（電気泳動ディスプレイ）の略で電子ペーパーを使用した表示方式のひとつ。

※3 複数のセンサー情報を融合して、より高度な計測精度を実現する技術。

スマートヘッドセット「MOVERIO Pro」で、作業の最短距離を

エプソンのコア技術である「マイクロディスプレイ技術」が生み出した両眼シースルーの特長をもつスマートアイウェアに、もう一つのコア技術である「センシング技術」を搭載し、業務用途に進化させたスマートヘッドセット「MOVERIO Pro」が新たな価値をお届けします。



エプソンのスマートアイウェア MOVERIO は、メガネのように装着して使用するウェアラブル情報機器です。

前モデルの発売直後より、幅広い用途への展開が期待されていましたが、お客様への調査や実証実験の結果などを基に、2015年9月に、業務向けモデルとして MOVERIO Pro [BT-2000] を発売しました。

「BT-2000」は、両眼シースルータイプの特長を生かし、作業対象や周囲の情報を確認しながらよりの確な作業が可能になるとともに、音声コマンドにも対応することで、コントロー

ラーのボタン操作なしで作業を続けることができるなど、業務の効率化も図ることが可能となりました。

さらに、本体には、高精度センサー IMU (慣性計測ユニット) を搭載、作業姿勢や動きを正確に検知することが可能です。

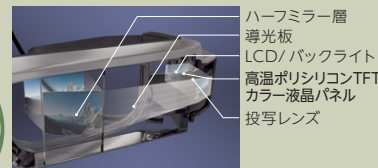


エプソンの技術力を結集

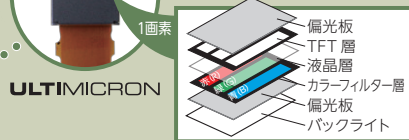
このように、優れた特長をもつ「BT-2000」ですが、ここにもエプソンの独自技術がフル活用されています。

表示系には、マイクロディスプレイや光学設計技術が応用されているのももちろんですが、新たな機能に必要な音声コマンド用 IC の他、本体に搭載されている高精度センサー IMU も、産業用途に高い評価を獲得しているエプソン製のセンシングデバイスです。このように、さまざまな事業で培われてきた競争力ある部品や技術が、この商品の競争力を支えています。

高精度センサー IMU (慣性計測ユニット)



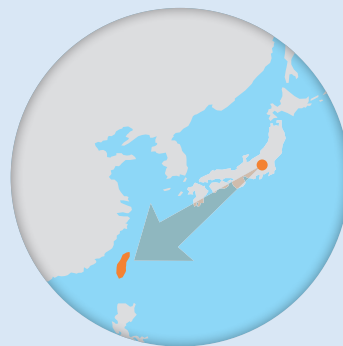
高温ポリシリコンTFT カラー液晶パネル



「省エネパトロール隊」が台湾全域に拡大

エプソンは、事業を支えている技術力やノウハウを地域社会にも積極的に還元することで、社会とともに発展していくことを経営理念にも掲げ、これまでも多くの活動を行ってまいりました。

今回は、日本で始まった活動が、海外にも展開され、地域の方々と協力しながらCO₂削減活動(省エネルギー活動)を行っている事例をご紹介します。



エプソンの台湾現地法人Epson Taiwan Technology & Trading Ltd. (ETT) は、セイコーエプソンの本社所在地である長野県で実施している、さまざまな施設を訪問して省エネルギー診断を行う活動のノウハウを生かし、2010年に台湾の企業・団体とともに「台湾省エネパトロール隊」を立ち上げ、地元企業に向向いて無料の省エネ診断サービスの提供を開始しました。

活動開始から2年目、設立時のメンバーでもある「企業持続発展協会」と一緒に「台湾省エネパトロール隊連合」を結成しました。これによって、より多くの企業に参加を促し、2013年に「南台湾」、2014年には「中台湾」省エネパトロール隊を結成し、活動範囲を台湾全域に拡大することができ

ました。ETTは、各地域の参加隊員を対象に研修会などを開催するなどして、情報共有を図ることに協力してきました。その結果、2015年3月までに会員が34社に増え、累計112件の診断を行うまでに至り、現在もその活動は継続しています。

この活動は、ETTだけではできることが限られていましたが、地域の企業・団体の協力があったからこそ、実現できました。ご協力いただいた方々に大変感謝しています。

これからも、より多くの企業・団体に参画していただき、行政にも働き掛け、持続可能な省エネパトロール活動にしていきたいと考えています。



隊員が診断結果を企業へフィードバック

パトロール中の隊員たち

省エネパトロール隊とは

エプソンが培った省エネ技術事例集をセイコーエプソン本社のある長野県諏訪地域の企業に配布したことをきっかけに、これらの企業から省エネ診断の依頼を受けたことで始まりました。2000年に地域の有志企業とともに「諏訪地域省エネパトロール隊」が結成され、2005年には長野県からの要請もあり、「信州省エネパトロール隊」として活動範囲を長野県全域に拡大し、現在もその活動は継続されています。

連結決算の概要

四半期連結財政状態計算書の要旨

(単位: 億円)

科目	2015年3月期 連結会計年度末 (2015年3月31日現在)	2016年3月期 第2四半期連結会計期間末 (2015年9月30日現在)
資産		
流動資産	6,503	6,128
非流動資産	3,558	3,660
資産合計	10,062	9,788
負債		
流動負債	3,554	3,553
非流動負債	1,535	1,243
負債合計	5,089	4,797
資本		
資本金	532	532
資本剰余金	843	843
自己株式	△204	△204
その他の資本の構成要素	830	760
利益剰余金	2,941	3,031
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,943	4,962
非支配持分	29	29
資本合計	4,973	4,991
負債及び資本合計	10,062	9,788

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位: 億円)

科目	2015年3月期 第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)	2016年3月期 第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	392	270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△369
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190	△419
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	67	△28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	29	△547
現金及び現金同等物の期首残高	2,115	2,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,144	1,905

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

四半期連結包括利益計算書の要旨

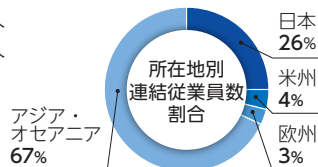
(単位: 億円)

科目	2015年3月期 第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)	2016年3月期 第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)
売上収益	5,128	5,429
売上原価	△3,252	△3,512
売上総利益	1,875	1,917
販売費及び一般管理費	△1,366	△1,515
その他の営業収益	327	47
その他の営業費用	△50	△32
営業利益	785	417
金融収益	29	8
金融費用	△10	△25
持分法による投資利益	1	0
税引前四半期利益	806	401
法人所得税費用	△146	△139
継続事業からの四半期利益	659	261
非継続事業からの四半期損失	△2	△0
四半期利益	656	261
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目合計	86	△37
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	130	△61
税引後その他の包括利益合計	216	△98
四半期包括利益合計	873	163
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	655	260
非支配持分	0	1
四半期利益	656	261
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	870	162
非支配持分	2	0
四半期包括利益合計	873	163
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	183.32	72.75
継続事業に関する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	184.02	72.84
非継続事業に関する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期損失 (円)	△0.70	△0.09

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

会社概要

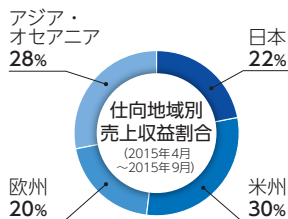
商号	セイコーエプソン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION)
創立	1942年5月18日
本社	〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131 (代表)
本店	〒163-0811 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号新宿NSビル TEL: 03-3348-8531 (代表)
資本金	532億4百万円
従業員数	連結: 71,777 人 単体: 11,930 人



グループ会社 93社 (当社含む国内21社、海外72社)

国内関係会社

エプソン販売株式会社
エプソンダイレクト株式会社
オリエント時計株式会社
東北エプソン株式会社
秋田エプソン株式会社
エプソンアトミックス株式会社
他 14社



海外関係会社

Epson America, Inc.
Epson Europe B.V.
Epson (China) Co., Ltd.
Epson Singapore Pte. Ltd.
Epson Engineering (Shenzhen) Ltd.
Singapore Epson Industrial Pte. Ltd.
P.T. Indonesia Epson Industry
Epson Precision (Philippines), Inc. 他 64社

役員

取締役および監査役		業務執行役員	
取締役社長 (代表取締役)	碓井 稔	業務執行役員常務	John Lang 羽片 忠明
専務取締役 (代表取締役)	濱 典幸	業務執行役員	小池 清文 北松 康和 島田 英輝 北村 政幸 深石 明宏 村田 すなお 森山 佳行 高畑 俊哉 北原 強 佐伯 直幸 下斗米 信行 山本 和由
常務取締役	井上 茂樹 福島 米春 久保田 孝一		
取締役	奥村 資紀 渡辺 潤一 川名 政幸 青木 利晴 ^{※1} 大宮 英明 ^{※1}		
常勤監査役	久保田 健二 平野 精一		
監査役	山本 恵朗 ^{※2} 宮原 賢次 ^{※2} 奈良 道博 ^{※2}		

※1 社外取締役
※2 社外監査役

株式の状況

発行可能株式総数	1,214,916,736 株
発行済株式総数	399,634,778 株
株主の総数	51,697 人

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三光起業株式会社	20,000	5.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,634	4.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,984	4.18
セイコーホールディングス株式会社	12,000	3.35
服部 靖夫	11,932	3.33

(注) 1. 当社は自己株式 41,859 千株を所有していますが、上記の大株主の状況から除外しています。
2. 持株数は、千株未満を切り捨てています。
3. 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数点以下第 3 位を切り捨てています。